



(題字 小黒千足 学長)

第384号  
(平成8年12月号)



▲ 「学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会」で学長を囲み  
「北国の春」を合唱する留学生 (平成8年12月10日: 高志会館)

## 目 次

関係法令	3	職員消息	
諸会議	3	◆ 住所変更	12
		◆ 訃報	13
学 事		主要行事	14
◆ 平成9年度入学者特別選抜試験を実施	4		
人事異動	7		
学内諸報			
◆ 「学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会」を開催	7		
◆ 中国人民大学計画統計学院と学部間 学術交流協定を締結（経済学部）	8		
◆ 公開講演会を開催（経済学部）	8		
◆ 学術講演会を開催（低温液化室）	9		
◆ エイズ講演会を開催	10		
◆ 英会話研修会を実施	11		
◆ 海外渡航者	12		
◆ 外国人来訪者	12		

## 関 係 法 令

### (法 律)

- 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(112)(平8.12.11官報号外特第16号)

### (府 令)

- 寒冷地手当支給規則及び寒冷地手当支給規則の一部を改正する総理府令の一部を改正する総理府令(総理56)(平8.12.18官報号外第272号)

### (規 則)

- 人事院規則15-14(職員の勤務時間、休日及び休暇)の一部を改正する人事院規則(人事院15-14-3)(平8.12.9官報第2035号)
- 人事院規則9-6(俸給の調整額)等の一部を改正する人事院規則(同9-6-29)(平8.12.11官報号外特第16号)
- 人事院規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-31)(同上)
- 人事院規則9-15(宿日直手当)の一部を改正する人事院規則(同9-15-8)(同上)
- 人事院規則9-24(通勤手当)の一部を改正する人事院規則(同9-24-9)(同上)

- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則(同9-30-32)(同上)
- 人事院規則9-34(初任給調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-34-12)(同上)
- 人事院規則9-68(義務教育等教員特別手当)の一部を改正する人事院規則(同9-68-5)(同上)
- 平成8年改正法附則第6項の規定による最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等(同9-101)(同上)
- 人事院規則9-6-28(人事院規則9-6(俸給の調整額)等)の一部を改正する人事院規則(同9-6-28-1)(平8.12.25官報第2046号)
- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-17-60)(同上)
- 人事院規則17-0(管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則(同17-0-44)(同上)

### (告 示)

- 出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令の留学及び就学の在留資格に係る基準の規定に基づき日本語教育施設等を定める件の一部を改正する件(法務352)(平8.12.9官報第2035号)

## 諸

## 会

## 議

### 第1回自然観察実習センター運営委員会(12月2日)

#### (議 題)

- (1) 国際交流会館の建設候補地について
- (2) その他

### 第6回廃液処理施設運営委員会(12月6日)

#### (議 題)

- (1) 廃液処理の外部委託について
- (2) その他

### 第1回体育施設運営協議会(12月9日)

#### (議 題)

- (1) 体育施設の管理体制一元化について
- (2) 富山大学体育施設運営協議会要項の改正について

### (3) その他

### 第2回国際交流委員会(12月13日)

#### (審議事項)

- (1) 国際交流会館の設置要求について
- (2) その他

### 第3回年史編纂委員会(12月16日)

#### (議 題)

- (1) 年史編纂について
  - ① 部局編項目について
  - ② その他
- (2) その他

## 第1回体育施設委員会（12月16日）

## （議 題）

- (1) 体育施設の管理体制一元化について
- (2) 富山大学体育施設運営協議会要項の改正について
- (3) 富山大学体育施設使用内規の規定について
- (4) その他

## 第3回保健管理センター自己点検評価委員会（12月17日）

## （議 題）

- (1) センターの在り方及び目標に関すること（自己点検評価事項について）
- (2) その他

## 第3回教養教育委員会（12月19日）

## （審議事項）

- (1) 平成9年度教養教育授業時間表（案）について
- (2) 平成9年度教養教育非常勤講師の任用計画（案）及び資格審査について
- (3) 平成9年度教養教育授業日程（案）について
- (4) その他

## 第8回部局長懇談会（12月20日）

## （議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

## 第8回評議会（12月20日）

## （審議事項）

- (1) 富山大学教官の第9次定員削減計画について
- (2) 防災面から見た研究環境の現状と問題点及び安全策について
- (3) その他

## 第8回事務協議会（12月24日）

## （議 題）

当面の諸課題について

## 第2回学園ニュース編集委員会（12月25日）

## （審議事項）

- (1) 富山大学学園ニュース第92号の編集について
- (2) その他



## 平成9年度入学者特別選抜試験を実施

去る11月27日（水）に特別選抜（推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜）試験が実施されました。

推薦入学は，人文学部（平成9年1月22日に実施）を除き，教育学部，経済学部，理学部及び工学部で，また，帰国子女・社会人特別選抜は，人文学部，経済学部，理学部及び工学部の各会場で，小論文，面接，学力検査，実技検査などの試験が行われ，12月5日（木）に合格者が発表されました。

なお，志願者数，合格者数等は次のとおりです。



▲ 雨の中合格発表に見入る受験生，父兄等  
（平成8年12月5日）

## 平成9年度富山大学推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜入学志願・受験・合格状況

区分	学部	学 科 等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
推 薦 入 学	人文	人 文 学 科	6	36	—	—	
		国 際 文 化 学 科	4	14	—	—	
		言 語 文 化 学 科	8	46	—	—	
		計	18	96	—	—	
	教育	中学校教員 養成課程	数 学 専 攻	2	13	13	2
			理 科 専 攻	2	2	1	1
			音 楽 専 攻	2	12	12	2
			美 術 専 攻	2	12	12	2
			保 健 体 育 専 攻	2	9	9	2
			家 庭 専 攻	2	8	8	2
			技 術 専 攻	2	5	5	2
		情報教育課程	教 育 情 報 コ ー ス	6	15	15	6
			環 境 情 報 コ ー ス	4	5	5	4
	計	24	81	80	23		
	経済	昼間主A推薦	経 済 学 科	12	26	26	12
			経 営 学 科	10	24	24	10
			経 営 法 学 科	8	14	13	8
			小 計	30	64	63	30
		昼間主B推薦	経 済 学 科	12	27	27	12
			経 営 学 科	10	25	25	10
			経 営 法 学 科	8	16	15	8
			小 計	30	68	67	30
		夜間主コース	経 済 学 科	7	8	8	7
			経 営 学 科	7	10	10	7
経 営 法 学 科			6	5	5	7	
小 計			20	23	23	21	
計	80	155	153	81			
理	数 学 学 科	15	50	50	15		
	物 理 学 科	6	14	14	6		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	5	17	17	5		
	計	26	81	81	26		
工	電子情報工学科	普通・理数科	13	31	31	13	
		専門(工業)	6	15	15	6	
	機械システム工学科	普通・理数科	10	27	27	10	
		専門(工業)	5	14	14	5	
	物質工学科	普通・理数科	8	8	7	7	
		専門(工業)	4	10	10	4	
	化学生物工学科	普通・理数科	8	15	15	8	
専門(工業)		4	6	6	4		
計	58	126	125	57			
合 計		206	539	439	187		
		(注2)	(188)	(443)			

区分	学部	学 科 等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
帰 国 子 女 特 別 選 抜	人文	人 文 学 科	人 若 干 名	人 0	人 —	人 —	
		国 際 文 化 学 科	〃	3	3	2	
		言 語 文 化 学 科	〃	0	—	—	
		計	若 干 名	3	3	2	
	経済	昼間主コース	経 済 学 科	若 干 名	0	—	—
			経 営 学 科	〃	0	—	—
			経 営 法 学 科	〃	0	—	—
			計	若 干 名	0	—	—
	理	数 学 科	若 干 名	0	—	—	
		物 理 学 科	〃	0	—	—	
		化 学 科	〃	0	—	—	
		生 物 学 科	〃	0	—	—	
		地 球 科 学 科	〃	0	—	—	
		生 物 圏 環 境 科 学 科	〃	0	—	—	
		計	若 干 名	0	—	—	
	工	電 子 情 報 工 学 科	若 干 名	0	—	—	
		機 械 シ ス テ ム 工 学 科	〃	0	—	—	
		物 質 工 学 科	〃	0	—	—	
		化 学 生 物 工 学 科	〃	0	—	—	
		計	若 干 名	0	—	—	
合 計			若 干 名	3	3	2	
社 会 人 特 別 選 抜	人文	人 文 学 科	若 干 名	1	1	0	
		国 際 文 化 学 科	〃	2	2	0	
		言 語 文 化 学 科	〃	1	1	1	
		計	若 干 名	4	4	1	
	経済	夜間主コース	経 済 学 科	7	8	7	7
			経 営 学 科	6	8	8	6
			経 営 法 学 科	7	4	4	6
			計	20	20	19	19
	理	数 学 科	1	0	—	—	
		物 理 学 科	1	0	—	—	
		化 学 科	1	0	—	—	
		生 物 学 科	1	5	5	2	
		地 球 科 学 科	1	0	—	—	
		生 物 圏 環 境 科 学 科	1	1	1	1	
		計	6	6	6	3	
工	電 子 情 報 工 学 科	1	1	1	1		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	1	0	—	—		
	物 質 工 学 科	1	0	—	—		
	化 学 生 物 工 学 科	1	1	1	1		
	計	4	2	2	2		
合 計			30	32	31	25	
総 計			236 (218)	574 (478)	473	214	

(注1) 人文学部推薦入学は、検査を平成9年1月22日(水)、合格発表を2月7日(金)に予定している。

(注2) ( )内の数字は、人文学部推薦入学分を除いたものを示す。

## 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属・官職	異 動 内 容
採 用	9. 1. 1	室 進 一		講 師 (生涯学習教育研究センター)
配 置 換	9. 1. 1	多 賀 健 治	臨時用務員 (教育学部作業員)	臨時用務員 (学生課作業員)
臨時的任用	8. 12. 17	西 本 由紀子		教 諭 (教育学部附属中学校) (~9. 1. 27)
退 職	8. 12. 26	岩 城 時代美	事務補佐員 (附属図書館情報サービス課)	平成8年12月25日限り退職した
	〃	深 谷 信	〃 ( 〃 )	〃
	〃	大 岸 里 美	〃 ( 〃 )	〃
	〃	尾 下 成 敏	〃 ( 〃 )	〃
	〃	西 村 憲 一	〃 ( 〃 )	〃
	〃	近 藤 俊 彦	〃 ( 〃 )	〃

## 学 内 諸 報

### ／「学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会」を開催＼

－ お国の歌や踊りで国際理解を深める －

「学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会」が、去る12月10日（火）に市内のパレ・ブラン高志会館で開催されました。

懇談会には、本学に在籍する中国、マレーシアなど17か国の外国人研究者及び留学生約170人、小黒学長はじめ浜谷学生部長、各部局長、国際交流委員会委員、指導教官、留学生担当職員など教職員約100人が参加し、国際色豊かに和やかな交流が行われました。

初めに、小黒学長から激励の挨拶の後、日本語・日本事情担当教官の教育学部加藤助教授から留学生特有の修学・生活上の諸問題等の現状と課題について話があり、続いて地元有志によるマジックの披露、本学職員による日本舞踊、箏曲大和楽「舞の道」の踊り、中国留学生による「太極拳」、本学邦楽部学生による「六段の調べ」の演奏などに留学生らは日本舞踊の手ほどきを受けたり、琴や尺八に実際に触れ、日本の伝統文化を堪能していました。

引き続き、中国留学生の中国民謡「弯弯的月亮」の独唱、台湾留学生らによる台湾民謡「阿娜答」の歌の披露、マレーシア留学生によるマレーシア民謡「ゲーラン シブクゲーラン」の歌、ロシア女子留学生による歌や

踊りなど、様々なお国の民謡や踊りに会場は異国情緒たっぷりに、懇談ムードをさらに盛り上げました。

最後に、学長を囲んで、教職員と留学生が「北国の春」を合唱し、浜谷学生部長の閉会の挨拶で和気あいあいのうちに懇談会が締めくくられ、留学生らは、日本の伝統文化に触れたり、ふだん余り接することのない教職員と打ち解けて、より一層の親睦と相互理解を深めることができ、留学生交流推進につながる有意義な懇談会となりました。



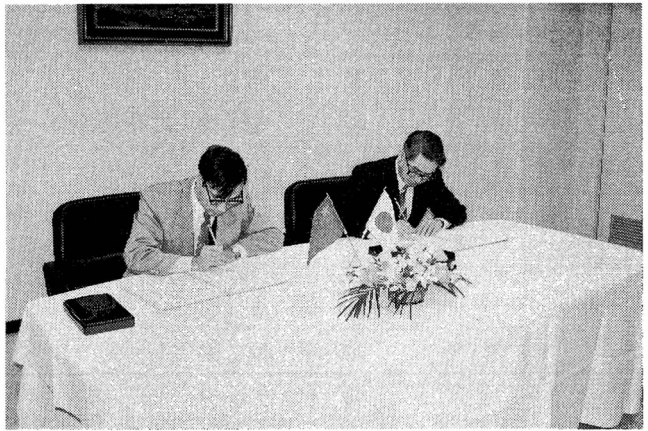
▲ 和やかに交流を深める

## 中国人民大学計画統計学院と学部間学術交流協定を締結（経済学部）

経済学部は、中国人民大学計画統計学院との間で、学術交流に関する学部間学術交流協定を締結しました。

調印は、去る平成8年12月10日（火）に同学部で行われ、丹羽経済学部長と許光建副学院長が協定書を取り交わしました。

これにより、経済学部においては韓国江原大学校経営大学、ロシア連邦極東総合大学附属東洋大学に次ぐ3番目の学部間協定締結となり、環日本海地域における交流のネットワークが広まることで、今後さらに経済を中心とした調査研究、人的交流、情報交換など学術に関する様々な交流の発展が期待されます。



▲ 協定書に署名する丹羽経済学部長（右）と許光建副学院長

## 公開講演会を開催

経済学部では、学部間学術交流協定調印のため来学された中国人民大学計画統計学院副学院長許光建氏による公開講演会（主催：日本海経済研究所）が去る12月10日（火）同学部 201講義室で開催されました。

講演会では、「中国経済の発展における当面の課題」と題し、高度成長下のインフレの発生とその抑制、農業及び郷鎮企業の発展、個人所得の増大と所得格差の拡大等について、同学部教官・学生を対象に約1時間30分の講演が行われ、出席者は熱心に聴講していました。



▲ 講演を行う許副学院長（右）



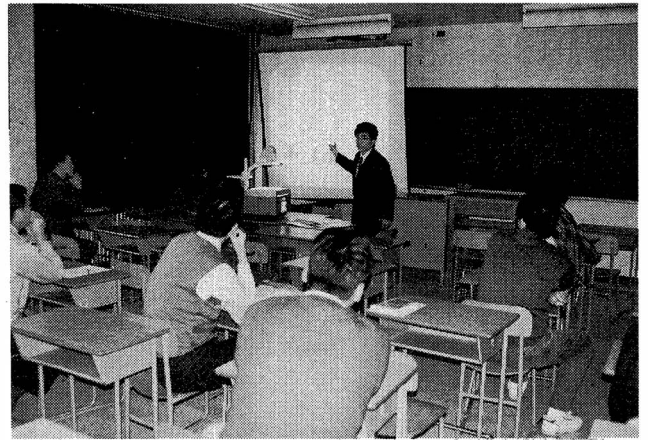
## ＜ 学術講演会を開催（低温液化室） ＞

低温液化室では、毎年講師を招き講演会を行っています。例年、極低温、低温凝縮の話題に限定していましたが、このために頭が冷えて、固くなってしまったなどの苦情がでないように、今年はぐっと話題を変え、去る12月13日（金）、奈良産業大学経済学部大原莊司教授を招き、教官、学生を対象に「カオスとリアプノフ解析」と題して、理学部5番教室（2号館）で開催しました。

書籍店の自然科学コーナーを覗くと、複雑系、カオス、フラクタルの新刊書が並んでおります。この分野は現今相当騒がれているようだが、あまり詳しいことは知らないのが現状です。そこで、今年は、この分野の新しい発展と考え方の基礎を話してもらおうということになりました。

カオスとは、聖書の「初めに混沌ありき」の混沌のことです。そこで神の意思が明示され、その混沌から、言葉を初めいろいろの秩序が発生してくるというストーリーです。しかし、神の意思が急に雷鳴のように轟いたわけではなかったのです。実は、放っておいても、新しい秩序が発生しかかっていたのです。そこには必然の未来への勢いがあり、これを人は神の声だと聞いたのです。複雑系のカオスは単なる混沌ではなく、混沌の中に潜む秩序の芽、または、目が複雑系というカオスなのです。

冬の日の寒い朝、窓ガラスには冷たくも、美しい氷の結晶がいろいろな方向に咲き乱れた花模様を見せてくれます。また、さわやかな初夏の日に立山の麓を散歩していると、深い森の山肌をしだの葉の気持ちよいカーペットが敷き詰めています。このしだの葉を手にとってよく見ると、垂れ下がった葉の分節の仕方が規則的なようで



▲ 講演を行う大原教授

あり、そうでもないようであり、とても不思議です。また、五万分の一でもどんな縮尺の地図を見ても海岸線には類似した凹凸の構造が現れております。もし拡大の地図を作ったとしても、そこにも砂粒一個ずつの凹凸が似た海岸線として現われておりそうですね。大原先生は大学の屋上に設置した複数のカウンターで宇宙線を長期間観測を続け、普通は無秩序だと思われる宇宙線の到達時間にも弱い関連性、相関を見付け出されているのです。このような不規則の中に、共通した、同じ手法で解析できる規則性の芽が潜んでいるらしいのです。

このような研究は確かに新しいものです。このようなカオス現象が将来どのような一般性と発展性を持つかはまだ明らかではないが、広く訴えるものがあるのは間違いなしです。大原先生の講演は大いに我々の好奇心を触発してくれました。

## ／ エイズ講演会を開催 ／

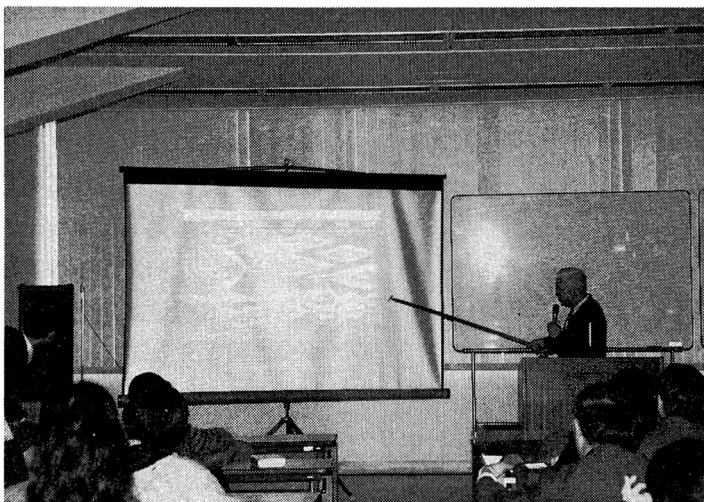
去る12月12日（木）午後1時30分から、エイズ講演会が学生部主催により黒田講堂において開催されました。

講演会には、本学学生及び教職員約90人の出席があり、保健管理センター所長の講師紹介の後、富山医科薬科大学医学部櫻川信男教授（富山医科薬科大学附属病院検査部部長、富山県エイズ対策委員）の講演が100枚のスライドを使って行われました。

エイズは、身近に侵入してきた性感染症（STD）である。エイズとは、不治の病気で、絶えず生命の危険を脅かし、生涯を通じて死の不安につきまとい、発病す

れば必ず死亡する。

エイズの潜伏期間は5～10年と長く、発症した場合、根治薬は開発されていないが、エイズを知ることがエイズから身を守ることであり、予防に勝る治療はない。エイズ発症者10万人に対し、エイズ関連症候群は30～50万人、無症候性キャリアは500～1,000万人がいるといわれているなど熱の入った講演が行われ、エイズの予防法は、NO SEX, STEADY SEX, SAFER SEXであると締めくくられました。



▲ 熱の入った講演をされる櫻川教授

## － 「英会話研修会」 を実施 －

本学では、事務職員を対象として「英会話研修会」を実施しました。

この研修会の目的は、教育・研究の国際化に対応し、また、外国人留学生・研究者も増加しており、基礎的な英会話を修得させ、職務の円滑な遂行を図るものです。

研修会は、講師として人文学部ムラジアン・メアリー・アン助教授に依頼し、去る10月14日（月）から12月17日（火）までの間、週2回計20回の講義及び演習を行いました。

各部局（課）から推薦された18人の受講者は、本学としては初めての試みであり、当初は戸惑いも見られましたが、回を重ねるごとに英会話にも慣れ親しみ、楽しく受講していました。

なお、受講者は次のとおりです。



▲ 講師の指導で真剣に取り組む受講者

1	庶務課庶務係庶務第一主任	田中輝和
2	人事課任用係総務主任	長崎宏美
3	企画室企画係	飯野るみ子
4	主計課司計係	細田和義
5	経理課用度係	村道俊一
6	学生課留学生係	藤井秀春
7	厚生課厚生企画係長	大崎秀雄
8	入試課教務係	倉田実
9	人文学部・理学部庶務係	生田孝行

10	人文学部・理学部学務第二係	森田智
11	教育学部学務係	津島浩司
12	教育学部附属学校第二係長	川原卯吉
13	経済学部庶務係	高柳裕子
14	経済学部教務係	光澤和嗣
15	工学部庶務係	石塚久博
16	工学部学務係	伏喜理香
17	附属図書館 情報サービス課情報サービス係情報サービス主任	種田ヨシエ
18	附属図書館 情報サービス課参考調査係	内藤綾子

## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	工学部	助教授	松郷 誠一	アメリカ合衆国	第6回国際細胞生物学会及び第36回アメリカ細胞生物学会に出席, 研究発表	8. 12. 5 } 8. 12. 13
	経済学部	講師	鍋島直樹	フランス	国際シンポジウム「日本資本主義と現代危機」に出席, 研究発表, 研究打合せ及び資料収集	8. 12. 15 } 8. 12. 24
	教育学部	助教授	岡安 隆	大韓民国	第3回環太平洋微分幾何学国際会議に出席, 研究発表	8. 12. 15 } 8. 12. 21
	人文学部	助教授	ムラジアン・メアリー・アン	アメリカ合衆国	ウェルズリー大学, ハーバード大学における文献調査	8. 12. 21 } 9. 1. 7

## 外国人来訪者

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
デビッド ファレル David Farrell (連合王国)	北アイルランド教育局 日本語教育主任	共同研究打合せ	教育学部教授 山西潤一	8.12.2 } 8.12.3

## 職員消息

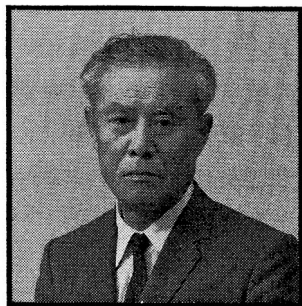
〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
経済学部	助教授 (比較経済論)	松井隆幸

## 訃報

## 富山大学名誉教授

## 溝上茂夫氏逝去



本学名誉教授溝上茂夫氏が平成8年12月26日に逝去されました。享年94歳

同氏は、大正11年3月広島師範学校本科を卒業後、同年3月31日広島県御調郡糸崎尋常高等小学校訓導、同13年8月同郡上川辺尋常高等小学校訓導、同14年3月広島県立尾道高等女学校教諭となり、その後、向学の念やみがたく、同15年4月広島高等師範学校德育専攻科に入学されました。昭和3年3月同校同専攻科を卒業後、同年3月31日山口県師範学校教諭、同10年8月新潟県長岡女子師範学校教諭兼同校附属小学校主事、同15年4月私立北星高等女学校教頭兼理事に就任され、同16年3月には同校校長兼桑園幼稚園長となりました。更に、同20年5月室蘭高等家政女学校長、同22年4月文部教官に任ぜられ、三重師範学校教授、同24年3月富山師範学校教授、同年5月同校が富山大学に包括されたことに伴い、同年6月兼ねて富山大学教授（教育学部勤務及び文理学部勤務）となりました。同25年4月富山大学教授（教育学部勤務）に配置換となり、昭和43年3月31日限り富山大学を停年退官されました。同46年5月本学発展のために尽力された功績により、富山大学名誉教授の称号が授与され、また同48年4月29日多年にわたり高等教育に貢献した功績により、勲三等旭日中綬章が授与されました。

同氏は、富山大学を停年退職した後、昭和43年4月から金沢経済大学教授に就任され、教職課程教授として教育・研究に従事し、同58年3月同大学を退職され、同年4月1日金沢経済大学名誉教授の称号を授与されました。

教育行政面での同氏は、昭和30年6月から同32年5月まで富山大学評議員、同34年3月から同38年3月まで富山大学教育学部長並びに評議員として、富山大学と教育学部の充実と発展に貢献されました。また、昭和28年7月から同30年12月まで教育学部附属中学校長、同30年12月から同32年12月まで教育学部附属小学校長、附属中学校長、附属幼稚園長として、実験学校として附属三校・園の一体観の育成と教育の一貫性を推進するため敷地の集中計画を推進するとともに、附属小・中学校では義務教育の在り方に目を向け、各教科並びに道德教育の面から9ヶ年カリキュラム試案の作成と児童・生徒の主体性の育成に重点を置いた教育をされました。

研究面では、著名な教育者であるドイツのO. ヴイルマンとスイスのペスタロッチの研究に取り組み、終始学生と現職教員の一般教育者としての教育的使命感と、ペスタロッチ的教育愛の作興に尽力されました。

一方、同氏は郷土教育（教育の郷土化）の見地から富山、金沢をはじめ北陸地方の郷土誌の研究を熱心に行い、特に同地方に縁り深いキリシタン大名高山右近の聖徳と殉教的精神の顕彰に努められ、地域社会にも多大な貢献をなされています。

同氏は、人格清廉、資性温厚かつ誠実にして識見高く、卓越した教育者・研究者としてその職務を遂行し、永年にわたり終始誠意をもって生徒並びに学生の教育の指導にあたり、特に教育方法及び教育行政等の主任教授として、有能な多くの人材を育成されました。

以上のように同氏は、富山大学の管理運営、発展に尽力されたほか、私立金沢経済大学の教育の充実にも寄与され、また、幼稚園、小学校から大学に至るまでのあらゆる段階の学校教育に携わる中で、50年余の教育生活を一貫した理想主義的教育の実践と研究に努められました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

# 主 要 行 事

## 本 部

- 12月2日 平成8年度全国就職問題協議会，平成8年度  
全国就職指導ガイダンス（名古屋大学）
- 3日～4日 服務制度等説明会（人事院中部事務局）  
平成8年度厚生補導研究会（グリーンビュー  
立山）
- 4日～13日 人事事務研修（オリセン）
- 5日 第4回国際交流委員会学術交流部会  
推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜合格者  
発表
- 9日 第3回自己点検評価委員会研究活動等専門委  
員会  
第6回国際交流委員会留学生部会
- 10日 第4回自己点検評価委員会教育活動専門委員  
会  
学長主催による外国人研究者及び留学生との  
懇談会（高志会館）  
第3回教務委員会専門委員会
- 12日 エイズ講演会  
第6回教養教育委員会実施専門委員会
- 12日～13日 メンタルヘルス研究協議会（虎ノ門パストラ  
ル）
- 13日 第4回自己点検評価委員会管理運営専門委員  
会
- 13日～19日 推薦入学（人文学部）入学願書受付
- 17日 平成8年度文教施設応急危険度判定講習会  
（東京医科歯科大学）
- 19日～24日 パソコン講習会
- 24日 第4回教務委員会専門委員会

## 人 文 学 部

- 12月4日 教授会  
教授会（人事）  
大学院人文科学研究科委員会
- 13日 学部就職指導委員会  
学部教務委員会・教務担当者合同会議
- 16日 学部国際交流委員会
- 18日 教授会

## 教授会（人事）

- 25日 学部留学生との懇談会

## 教 育 学 部

- 12月2日 自然観察実習センター運営委員会  
学部予算委員会
- 3日 学部改組ワーキンググループ
- 4日 学部教務委員会  
学部入学試験委員会  
教育学研究科委員会  
教授会  
人事教授会
- 6日 今後の人事に関する検討会
- 9日 附属幼稚園入園児発育検査（3歳児）
- 10日 〃 （4歳児）  
附属養護学校入学者選考
- 11日 学部防火対策委員会  
学部カリキュラム委員会  
学部留学生派遣部会  
人事検討委員会  
附属幼稚園入園児発育検査合格者発表  
附属養護学校合格者発表
- 12日 教育実習運営協議会
- 13日 附属幼稚園入園児第二次選考（抽選）
- 16日 呉山会役員会
- 18日 今後の人事に関する検討会  
学部安全管理委員会
- 19日 附属幼稚園第二学期終業式
- 21日 附属小学校，附属中学校及び附属養護学校第  
二学期終業式
- 25日 人事教授会

## 経 済 学 部

- 12月3日 日本海経済研究所運営委員会  
各種委員選考委員会  
大学院経済学研究科委員会小委員会
- 4日 人事教授会  
大学院経済学研究科委員会

	教授会		温交会総会
	消火訓練	12日	学部運営委員会
10日	中国人民大学経済計画統計学院との学術交流協定締結	13日	工学部安全委員会
	学部入学方法検討委員会（持ち回り）		工学部案内編集委員会
12日	学部施設整備委員会		自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
16日	財務委員会	16日	教務委員会
	論集委員会	17日	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
17日	学部教務委員会		応用物理学会北陸支部富山地区講演会
	学部入学方法検討委員会（持ち回り）	18日	工学研究科委員会
	日本海経済研究所運営委員会（持ち回り）		専任教授会
18日	人事教授会		博士後期課程委員会
	教授会	26日	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
			若手教官との懇談会

## 理 学 部

12月3日	大学院設置構想推進委員会
4日	大学院理学研究科委員会
	教授会
	人事教授会
10日	教授会（持ち回り）
	学部情報化対策委員会
11日	学部教務委員会
13日	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
17日	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
18日	理学研究科委員会教務検討小委員会
	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）理学部会
20日	学部就職指導委員会
24日	教授会（持ち回り）
	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）理学部会
26日	自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
	学科長会議

## 工 学 部

12月2日	教務委員会
4日	教授会
	研究科委員会
	博士後期課程委員会
	専任教授会
11日	自己点検評価委員会
	外国人留学生のための交通安全等教室

## 附 属 図 書 館

12月26日	第4回年史編纂構成・項目等検討小委員会
--------	---------------------

## 地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー

12月12日	第4回大学院生教育講座
17日	企業見学と産学交流会（津根精機（株））
19日	企業見学と産学交流会（東京タングステン（株））

## 生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー

12月2日	大学放送公開講座テレビ講座再視聴
4日	大学放送公開講座テレビ講座スクーリング
12日	第1回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

## 総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー

12月9日	第3回総合情報処理センター 広報研修専門委員会
12月16日	第2回総合情報処理センター 企画運営専門委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話(24)1755(代)